

墨田区子ども・子育て支援事業 計画PRシンポジウム企画案

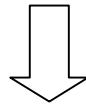
タイトル	聞いて！話して！子ども・子育て支援新制度スタート！ ～ すみだの参加型子育てシンポジウムはじまるよ～	
日 時	平成 27 年 3 月 21 日（土・祝） 午前 10 時～正午 スタッフ集合は原則午前 8 時 30 分 開場及び一時保育受付は午前 9 時 30 分～	
会 場	すみだ女性センター（墨田区押上 2 - 12 - 7 - 111） ・ホール ・会議室 1 ～ 3 ・和室 ・保育室	
目 的	平成 27 年度～ 31 年度までの教育・保育に係る施設・事業の量の見込みとその供給体制や次世代育成支援施策等を盛り込んだ「墨田区子ども・子育て支援事業計画」を周知することにより、新制度施行後における切れ目のない区の子育て支援策のビジョンを P R する。	
主な内容	■ホール 前半：基調講演（大豆生田会長） 事業計画の内容説明（区職員） 後半：ワークショップ（すみだの理想の将来像を描こう） ■会議室 1 もちもちマーケット（すみだ komachi による物々交換会） 事前にお子さんの使わなくなった衣類・おもちゃ・絵本などをお持ち込み頂き、その点数によって会場にあるお子さんにフィットしたものをお持ち帰り頂く。 ■会議室 2・3 事業計画に関するパネル展示・クイズラリー クイズラリーの解答用紙は、原則として基調講演と事業計画説明を傍聴した方を対象に配付する。 ■和室 満 1 歳～未就学児の一時保育（先着 20 名） 区立保育所の保育士が対応 ■保育室 就学児以上の遊びコーナー（ジュニア・リーダー O B による風船遊び）	
広報手段	区報（2 月 21 日号）やホームページに掲載するほか、各保育所・幼稚園等にチラシを配布することにより周知を図る。その他、区のツイッターの配信も予定。	
今後のスケジュール	・ 2 月 6 日（金） チラシ完成（チラシ作成はすみだ komachi に委託） ・ 2 月 21 日（土） 区報及びホームページ掲載 チラシ配布（一時保育受付スタート） ・ 3 月上旬 スタッフ数及び役割分担確定 ・ 3 月 7 日（土） パネル下書き ・ 3 月 15 日（日） パネル完成 } すみだ komachi に委託	

来場者の動線イメージ

午前 9 時 30 分

開 場 ・ 受 付（託児受付）（ホール入り口）

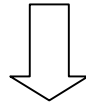
- ・ 満 1 歳～未就学の子ども（事前申込み）は和室で託児
- ・ 就学児以上は備え付けの保育室で遊んでも可



1 0 時 0 0 分

基 調 講 演 ・ 事 業 計 画 説 明（ホール）

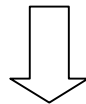
- ・ 基調講演・計画説明を傍聴した方を対象にクイズラリーの解答用紙を配付



1 1 時 0 0 分

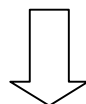
事業計画に関するパネル展示見学・クイズラリー参加
（会議室 2・3）

- ・ クイズラリーの全問正解者には景品を贈呈



ワークショップ（すみだの理想の将来像を描こう）参加
（ホール）

- ・ ワークショップ参加者には記念品を贈呈



終 了

【主な部屋ごとタイムスケジュール】

< ホール >

時間	内容	人員	詳細
8 : 3 0	物資搬入		設営開始 来場者用の椅子を設置
9 : 3 0 ~	受付開始	3 名	資料配布 会場案内
10 : 0 0 ~ 10 : 3 0	基調講演	大豆生田会長	
10 : 3 0 ~ 11 : 0 0	事業計画内容説明	区職員	
11 : 0 0 ~ 12 : 0 0	ワークショップ ・WS 参加者には 景品を贈呈	4 ~ 5 名	・基調講演と計画説明終了後、ホールにおいて模造紙・クレヨン・付せん等を使用し、参加者にすみだの理想の将来像（保育所・幼稚園・認定こども園、小中学校、公園、区全体）について自由に記載してもらう。 ・その他自由に絵が描ける模造紙を一枚用意する。 ・クイズラリーにチャレンジした人の答え合わせをホール入り口付近で行う。その後WSへ促す。

< 会議室 2・3 >

時間	内容	人員	詳細
8 : 3 0	物資搬入		・設営開始、仕切りの壁は取り払う。 ・パネルは模造紙 2 枚組を 8 組用意。4 組は壁に直に貼り付け、4 組はパネル板を利用し貼り付ける 別紙会場レイアウト参照
11 : 0 0 ~ 12 : 0 0	事業計画に関する パネル展示・クイズラリー		【実施方法】 ホールでの基調講演、計画説明を傍聴した人を対象に、クイズラリーの解答用紙を配付する。 会議室に、保育所・幼稚園・認定こども園、学童クラブ・児童館、小中学校等に関する事業計画の説明パネルを展示し、それぞれのパネルにおいて 1 ~ 2 問、虫食いクイズを出題する。全問正解者には、記念品を贈呈する。 参加者はパネルを読まないと正解できない仕組みとなっているため、事業計画のパネルを読ませ、内容について一定の理解を深めさせる狙いがある。

